

細胞の力で骨を守る —— 貪食能を高め、治療の新しい可能性へ！

陳 李毅樂

北海道大学 大学院医学院

整形外科教室



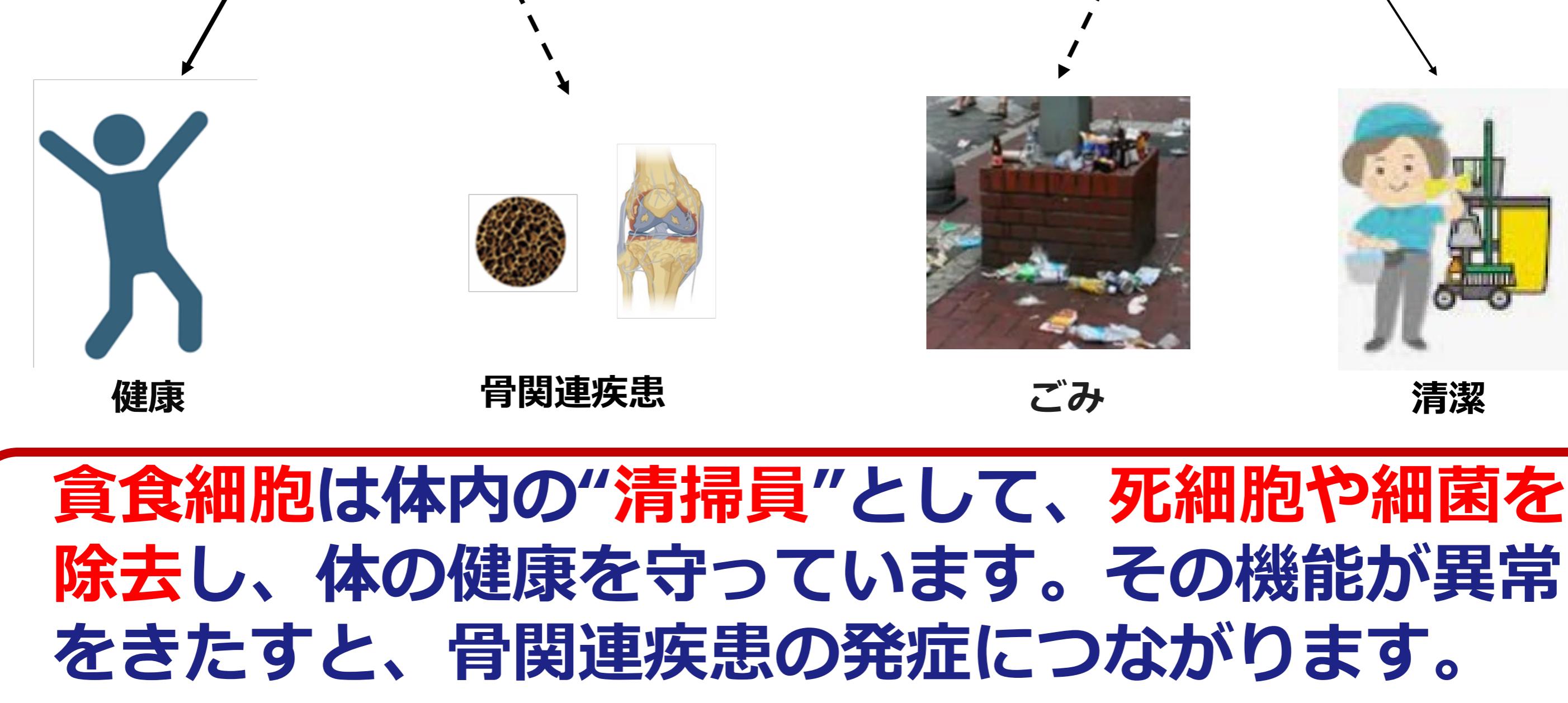
骨疾患のない未来社会へ

- ◆ 細胞治療が実現する新しい医療のかたち。
- ◆ 「治らない痛み」と「長い回復」の不安をゼロにする。
- ◆ 貪食能の強化が、骨再生治療の未来を切り拓く。

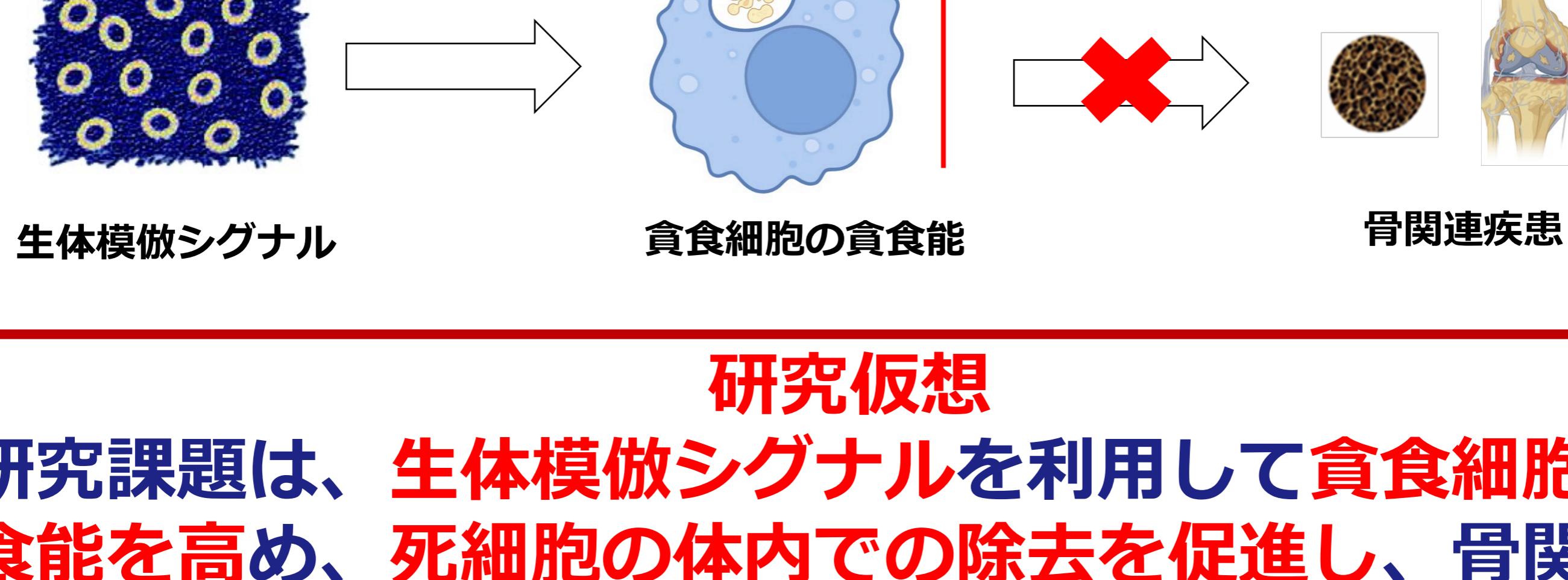
研究現状

骨関連疾患は現在多くの治療的課題を抱えており、既存の薬物療法や外科的治療では十分な効果が得られない場合も少なくありません。

細胞療法は、細胞の力をを利用して骨組織の修復や再生を促す新たな治療手段として注目を集めています、現在の研究の大きな焦点となっています。



貪食細胞は体内的“清掃員”として、死細胞や細菌を除去し、体の健康を守っています。その機能が異常をきたすと、骨関連疾患の発症につながります。



研究仮想

研究課題は、生体模倣シグナルを利用して貪食細胞の貪食能を高め、死細胞の体内での除去を促進し、骨関連疾患の発症と進行を抑制することを目的としています。

今後の展望

生体模倣シグナルによる貪食細胞の貪食能強化のメカニズムと、その臨床応用の可能性を探る。